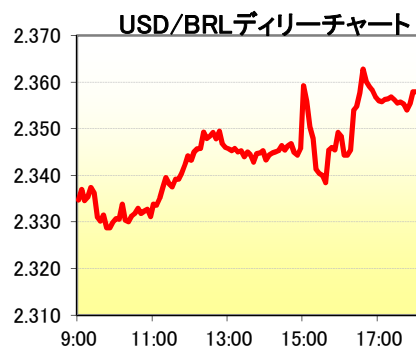


Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

1. マーケット・レート

			9月11日	9月12日	9月15日	9月16日	9月17日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.2980	2.3390	2.3430	2.3320	2.3580	+0.0260
	USD/YEN	Spot	107.04	107.35	107.19	107.11	108.35	+1.24
	EUR/USD	Spot	1.2926	1.2963	1.2939	1.2960	1.2860	-0.0100
	BRL/YEN	Spot	46.59	45.90	45.75	45.94	45.95	+0.01
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	0.9660	0.9880	0.9560	0.9370	0.9900	+0.05
		1Year(p.a.)	1.2400	1.3090	1.2900	1.2270	1.3000	+0.07
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10.97	11.01	11.03	11.03	11.04	+0.01
		1Year(p.a.)	11.30	11.44	11.37	11.39	11.43	+0.05
Stock	Bovespa		58,337	56,928	57,949	59,115	59,108	-6
Bond	CDS Brazil 5y		137.00	146.00	147.00	138.20	139.76	+1.56
	Global 40		109.600	109.600	109.500	109.400	109.300	-0.10

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



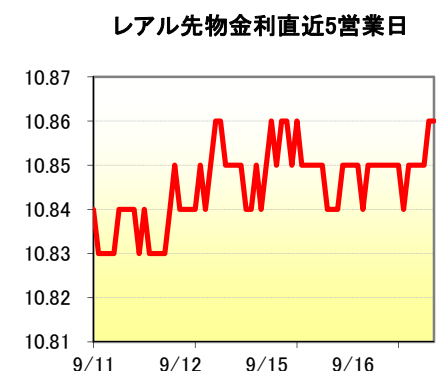
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGVインフレ率 IGP-10(前月比)	0.29%	0.31%	-0.55%



3. 要人コメント

なし	
----	--



4. 市況、トピックス

- 本日の為替相場は US\$1=R\$2.3370 で寄り付いた。
- 朝方発表された 8 月の米 CPI が予想よりも低かったことから、為替市場はドル売り優勢となり、レアルは本日の高値となる US\$1=R\$2.3270 を示現した。
- しかし、ドル売リー巡後は FOMC への期待感から再びドルが反発し、昼過ぎにはレアルは 2.35 近辺まで値を戻した。
- FOMC では、政策金利の据え置き、資産購入額を月に 250 億ドルから 150 億ドルに減額することが決定され、声明文では資産購入プログラム終了後も "considerable time" ゼロ金利政策を維持するという表現が再び使われた。フォワードガイダンス文言に期待された変化はなかったが、インフレ率が中長期的な目標を下回る状況が続いているとされたことや金利誘導目標の予想中央値が上方修正されたことに反応して、マーケットではドル買いが優勢となった。
- レアルは本日の安値となる US\$1=R\$2.3630 を示現した後、一旦 2.33 台まで急反発したが、引けにかけては再び売られて 2.36 台まで下落した。結局 US\$1=R\$2.3580 でクローズ。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。